

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

明和町教育委員会

令和6年4月18日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、小学校では国語・算数の2教科、中学校では国語・数学の2教科で実施されました。明和町立小学校第6学年の児童199人と明和町立明和中学校第3学年の生徒177人が参加しました。調査結果については、本町では、平均正答率を小学校国語でわずかに上回り、算数でわずかに下回りました。中学校国語と数学ともに下回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【小学校 国語】〔 〕内の記号は、問題番号

＜おおむね理解している問題＞

- ☆目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができたかをみる問題〔 2ー(1) 〕(正答率:約8割)
- ☆情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題〔 2ー(2) 〕(正答率:約9割)

＜課題がみられた問題＞

- ★資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかをみる問題〔 1二(2) 〕(正答率:約5割)
- ★目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題〔 2二 〕(正答率:約5割)

大問2二

【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く。

課題がみられた問題

○ ○ ○ (条件)

○ 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。

○ 「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※●の印から書きましょう。どちらで行を変えないで、続けて書きましょう。

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の [] に、「高山さんの取材メモ」をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に伝えんのを教えたり、下級生も楽しめるように、アキょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに伝えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを [] 上げるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

○遊びたいことを下級生に聞く

○ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くからボールを上げる

下級生に聞いたこと

○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった

○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた

○4年生 みんなが楽しそうであれしかった

- 条件をすべて満たしている。(正解) 56,3%
- 「たてわり遊び」のよさについて書かれていない。 31.7%
- その他 3%
- 「高山さんの取材メモ」を取り上げて書かれていないも。 1.5%
- 六十字以上百字にまとめて書かれていない。 1%
- 無回答。 6.5%

誤答例の分析と課題

ここでは、【高山さんのメモ】において、「わたしたちの学校のよさ」という中央の言葉と関係する言葉を線でつなぎながら、文章に書くことを決めていることを捉えることが求められるが、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていない誤答が31, 7%あります。自分の考えが伝わるように文章を書くためには、事実と感想、意見とを区別して書くなどして書き表し方を工夫することが大切であると考えられます。

＜今後の学習の手立て＞

集めた材料を目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、語句と語句を線でつないだりして材料の相互関係を整理することが大切です。また、文末表現に注意し、事実と感想、意見を区別して書き表すことで自分の伝えたいことを明確にできるよう指導していきます。

【小学校 算数】

〔 〕内の記号は、問題番号

＜おおむね理解している問題＞

- ☆数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる問題 〔 1 (2) 〕 （正答率：約9割）
- ☆直方体の見取り図について理解し、かくことができるかどうかをみる問題 〔 3 (1) 〕 （正答率：約8割）

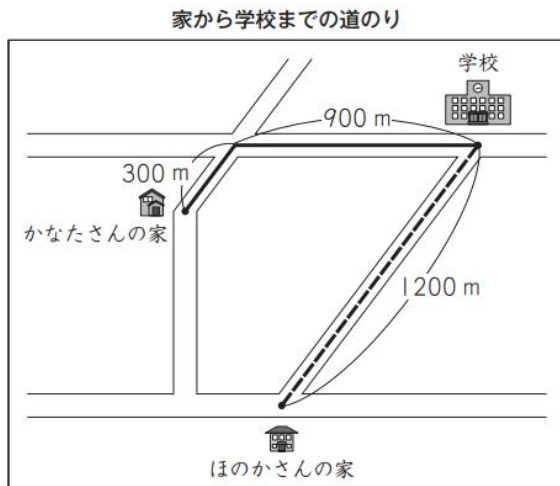
＜課題がみられた問題＞

- ★道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題
〔 4 (3) 〕 （正答率：約2割）
- ★折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題
〔 5 (3) 〕 （正答率：約4割）

大問4(3)

家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。
家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分かかりました。
それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。
下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
2 ほのかさん

〈正答の条件〉 1のかなたさんを選んで、A①②・B①②
どちらかが書けているもの
A①②が書けている… 14. 1%
B①②が書けている… 9. 0%

- A 道のりが等しいことと、かかった時間を基に、わけを書いている。
- ① 歩いた道のりが等しいこと(のみ)・・・39. 7%
② かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間より短いこと(のみ)・・・3%
- B かなたさんとほのかさんのそれぞれ歩く速さを基にわけを書いている。
- ① かなたさんの歩く速さを表す数や式(のみ)・・・0%
② ほのかさんの歩く速さを表す数や式(のみ)・・・2%

課題がみられた問題

誤答例の分析と課題

道のりが等しいとき、時間が短いほど速いことは理解しているが、どちらが速いかを判断する際、二人が歩いた道のりが等しいことと、一方の時間が短いことを説明する必要があることを捉えることができていないと考えられます。

<今後の学習の手立て>

速さを比べる活動を通して、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係についての理解を深めることを大切にしていきます。そのために、二つの数量の関係に着目し、大きさを比べたり、求め方を理由を挙げて説明したりすることができるように指導していきます。

【中学校 国語】

〔 〕内の記号は、問題番号

<おおむね理解している問題>

☆目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題 〔 3一 〕（正答率：約8割）

☆行書の特徴を理解しているかどうかをみる問題 〔 4三 〕（正答率：約8割）

<課題がみられた問題>

★文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる問題 〔 2一 〕（正答率：約3割）

★目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる問題 〔 2四 〕（正答率：約3割）

大問2一

「図 さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものを、2つ選ぶ。

課題がみられた問題

- 1・2と解答しているもの（正解）・・・28.4%
- 1と解答し、2と解答していないもの・・・33.0%
- 2と解答し、1と解答していないもの・・・25.6%
- 上記以外の解答・・・12.5%
- 無回答・・・0.5%

誤答例の分析と課題

「図 さまざまな形の葉」と文章中の「さまざまな形容」を表す言葉を結びつけて読むことで、実際にどのような形なのかを具体的に捉えることができなかった誤答が33.0%、

「図 さまざまな形の葉」と文章中の実際の葉の形を思い浮かべることができるような表現を結びつけて捉えることができなかった誤答が25.6%あります。いずれも図と文章を結び付け、その関係を踏まえて解釈することができていないものと考えられます。

- 一「図 さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものを、次の1から4までの中から二つ選びなさい。
- 1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。
 - 2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。
 - 3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。
 - 4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。



<今後の学習の手立て>

図表を伴う文章において、図表と文章とで関連している部分に着目しながら読んだり、どのような関係で結びついているかを教科書やノートに書き込みながら読んだりすることができるように指導していきます。

＜おおむね理解している問題＞

- ☆問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる問題〔6（1）〕（正答率：約9割）
- ☆二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題〔8（1）〕（正答率：約8割）

＜課題がみられた問題＞

- ★事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題〔8（2）〕（正答率：約1割）
- ★事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる問題。〔9（2）〕（正答率：約2割）

課題がみられた問題

大問8（2）18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。

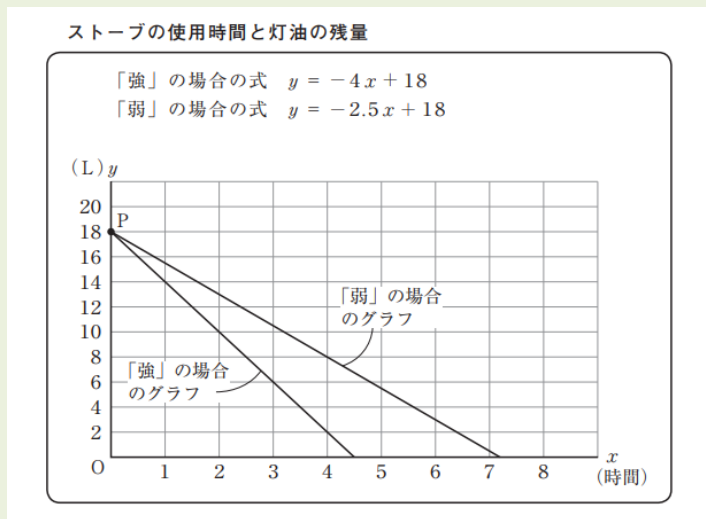
8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18Lの灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係調べることにしました。

そこで、結衣さんは、説明書の情報の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてからx時間経過したときの灯油の残量をyLとして、「強」の場合と「弱」の場合のxとyの関係をそれぞれ $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$ と表しました。そして、この2つの式をそれぞれ $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$ と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。



誤答例の分析と課題

この問題においては、一次関数について具体的な事象を捉え考察し表現することが求められています。ストーブの使用時間と灯油の残量の式から傾きに着目することはできるが、使用時間の違いが何時間になるか数学的に説明すること（それぞれの式に $y = 0$ を代入したり、それぞれの場合のグラフのy座標が0であることに着目したりすること）ができなかったと考えられます。

（2）前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

〈正答の条件〉

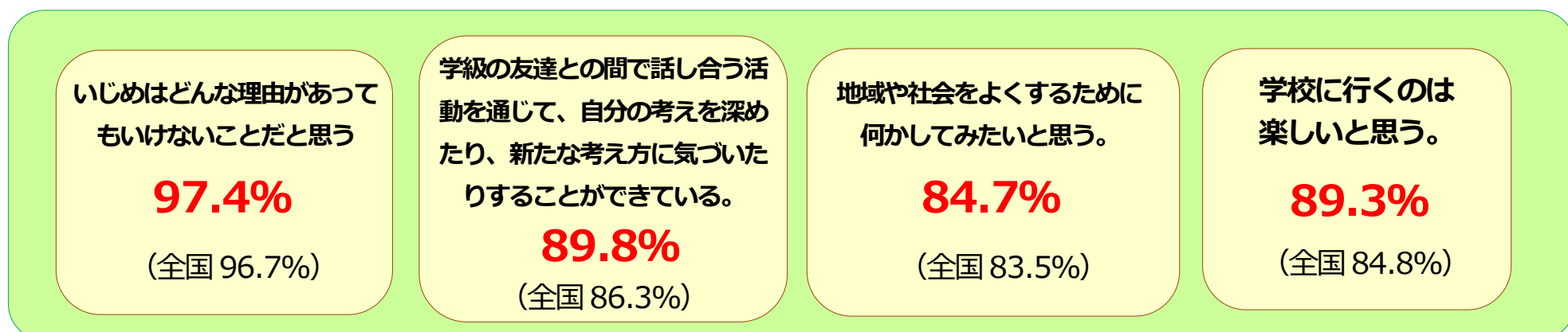
- アを選び、A. Bどちらかまたはどちらとも書けているもの・・・6. 8%
- イを選び、C. Dどちらかまたはどちらとも書けているもの・・・5. 1%
- イを選び、C. Eどちらかまたはどちらとも書けているもの・・・0. 6%
- A 「強」、「弱」それぞれの式に $y = 0$ を代入すること
- B 上記Aに対応するxの値の差を求めること
- C 「強」、「弱」それぞれのグラフのy座標が0であることに着目すること。
- D 上記Cに対応するxの値の差を求めること
- E 上記Cに対応する2点間の距離を読み取ること
- ・ Aのみ記述しているが十分でない・・・1. 7%
- ・ Bのみ記述しているが十分でない・・・4. 0%
- ・ Cのみ記述しているが十分でない・・・0. 6%
- ・ Dのみ記述しているが十分でない・・・7. 9%
- ・ Eのみ記述しているが十分でない・・・0%

＜今後の学習の手立て＞

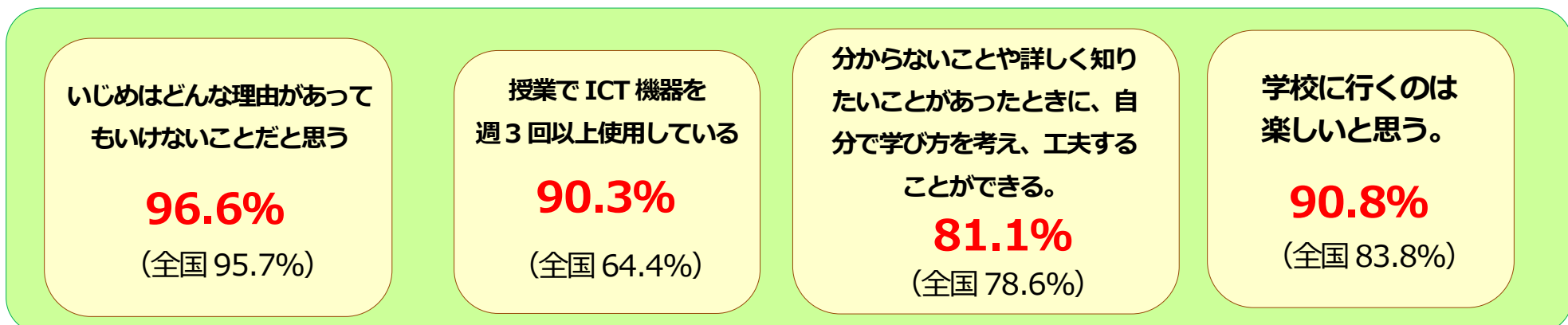
数学的な表現を用いて説明する場面では、数式をどのように用いるのか、グラフのどの部分に着目するのか問題を解決するための手立てを具体的に見だし、問題解決の方法を表現できるよう指導していきます。

子どもたちが肯定的に回答した割合が高かった主な設問

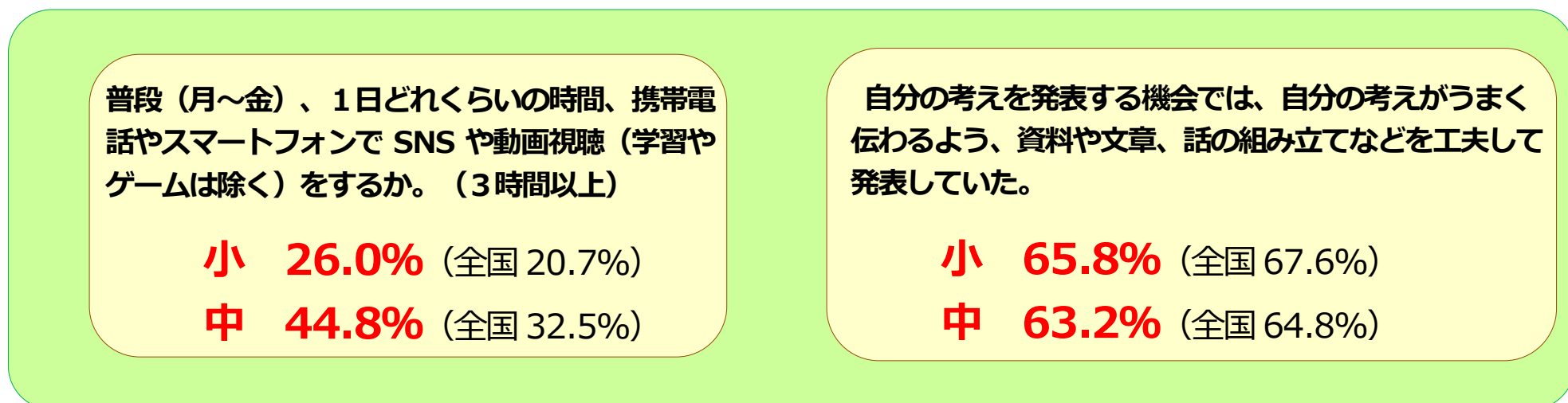
【 小 学 校 】



【 中 学 校 】



子どもたちの課題がみられた設問



明和町では、教育活動全体において、子どもたちを認めたり励ましたりしながら自尊感情を育み、仲間と安心して学び合える環境づくりに取り組んでおります。子どもたちの「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業づくり、命の大切さや他人を思いやる心をはぐくむ教育の充実、安全で安心して過ごせる環境づくりを目指しています。子どもたちの回答からもその成果が伺えます。個別的な学びや協働的な学びを進めることで、子どもたちの学習の理解度の高まりが教科調査と質問紙のクロス集計から見られます。これからは、活用頻度の高い ICT をより充実させ、自分の考えをうまく相手につたえることができる力を育てる授業づくりにとりくみ、学校・家庭・地域とともに明和町の教育を進めていきます。

ゲームやテレビ、SNS や動画視聴の時間は、小中学生ともに増加の傾向にあり、家庭学習の時間に課題がみられます。各学校では、ゲーム等の時間ならびに家庭での学習方法について具体的な指導を行い、家庭学習の手引き等をご家庭に提示し取組を進めてまいります。ご家庭では、子どもたちが学習に取り組みやすい環境づくりや声かけをお願いします。